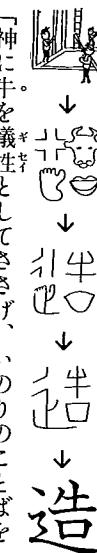


造

五年 筆順：ノンゾウ
画数：10
つくらる。

成り立ち



「神に牛を犠牲」としてささげ、いのりのことばを「つげる」という意味の「告」と、「進む」という意味の「進」を組みあわせて作った字です。

昔は、大きな建物を造る場合には、その事を「神前に進んで、告げる」ならわしがありました。それで、「建物を造る」という意味の字を、「進」と「告」とて表しました。「建物を造る」ことを「建造」とか「造営」とかと言います。

今は、「建物を造る」ことに限らずに使いますが、同じ「つくる」と読む字でも、「作る」よりも、大きな物を「つくる」場合や、大じかけて物を「つくる」場合に使います。

像

五年
画数：14
筆順：イ オン ゾウ
例：像 像 像 像 像

成り立ち



「かたどる」という意味の「象（4年54）」と、「イ」と

を組み合わせて作った字です。
「人をかたどつたもの」という意味の字です。
人の形やすがたをかたどつて作った「肖像」や、「絵姿」ばかりでなく、「仮想」や、「動物などの像」などを表した字です。

△ 肖像（肖は似せる意味。人に似せて作った彫刻などのこと。石膏や木や石や銅など、いろいろな材料で作られます。が、絵の場合には「肖像画」と言います。）

△ 上野公園には、西郷さんが犬を連れて散歩しているすがたの銅像があります。

△ 家の居間の壁には、お父さんのおじいさんの肖像画がかかっています。

△わたしは、写生画を書くよりも、想像画を書く方が好きです。

熟語例

△ 肖像（肖は似せる意味。人に似せて作った彫刻などのこと。石膏や木や石や銅など、いろいろな材料で作られます。が、絵の場合には「肖像画」と言います。）

△ 銅像（銅で作られた肖像のこと。）

△ 石像（石で作られた肖像のこと。）

△ 塑像（粘土や石膏で作られた肖像のこと。）

△ 偶像（偶も像も「人の形をかたどつたもの」の意味の

字ですが、「神仏をかたどつたもの」の意味に使われています。
△ 偶像崇拜（偶像を神仏そのものと考えて敬い礼拝すること。）

△ 想像（見たことの無い物を、心に思いえがくこと。）

△ 母が生れた家は、代々、酒を造る仕事をしていたそうです。

△ 社会科見学で、お菓子を製造する工場へ行つて来ました。

使い方

△ ぼくたちの先生は、西洋音楽にとても造詣の深い先生です。

熟語例

△ 建造（主に建物を造ることを言いますが、大きな船を造ることにも使います。例：汽船の建造）

△ 製造（製も「つくる」こと。機械を使って、同じ品物をたくさん造ることに使います。）

△ 改造（改め造ること。悪い所を改めるよう、造り直すこと。例：台所を改造する。）

△ 創造（創は物事の初めの意味。世の中にそれまで無かつた物を初めて造り出すこと。）

△ 構造（構は組み立て（かまえ）。造られた物の組み立て。仕組み。造りとも言います。）

△ 造詣（詣は奥深く至るという意味。学問や芸術などに深く通じていること。）